



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導法の工夫	校内における研究・研修の工夫	評価方法の工夫	家庭や地域との連携の工夫
◇東京都スポーツ教育推進校の成果を活かし、体育授業を改善するとともに、年間を通して運動に親しみ体を動かす活動に取組み、児童の体力向上を図る。 ◇特色ある教育活動の充実を図る。 [持久走大会・よみママクラブ]	◇年間指導計画・評価規準を見直し、授業における指導と評価の一体化を図る。 ◇3年～6年の算数科において少人数指導を実施し、個に応じた指導をする。 ◇各教科で話す・聞く力を伸ばす指導法を工夫する。	◇研究主題「自分の考えを広げたり深めたりできる立野の子」～読みとったことを伝え合う活動を通して(国語科)～ ◇公開研究授業[年間6回]や事前授業の充実を図る	◇1時間での評価規準を1項目に絞る。 ◇国語・算数科では観点毎に適切な評価をする。 ◇児童の学習意欲を向上を図るために、自己評価や相互評価を積極的に取り入れる。	◇学校公開日を学期1回設定し、保護者や地域住民に公開する。 ◇道徳授業地区公開講座を実施する。[1月]◇地域、PTAと共催でもちつき大会を実施し、相互の交流を図る。